

【使用上の注意】

- JS-360はスピーカーシステム用のスタンドです。他のものへの利用はさけていただくとともに重量物でありスパイクが装着されますので取扱には十分注意してください。
- 設置の際は水平でしっかりとした場所をお選びいただくとともに、スピーカーシステムがトッププレートから落下しないよう十分注意してください。
- ホコリや汚れなどがついた場合、乾いた柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
- 家具用ワックスやベンジン、アルコール、シンナー、スプレー式殺虫剤などの揮発性の液体が付くと、表面が侵される場合があります。

【JS-360仕様】

- 組み立て時寸法 [幅×奥行き×高さ]: 440×370×400(スパイクを除く)mm
- トッププレート寸法(幅×奥行き×高さ): 400×293×7.6mm
- ベースプレート寸法(幅×奥行き×高さ): 440×370×8mm
- 組み立て時重量 : 26kg

※改良のため予告なく意匠、仕様の一部を変更する場合があります。

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

ホームページ <http://www.harman-japan.co.jp>

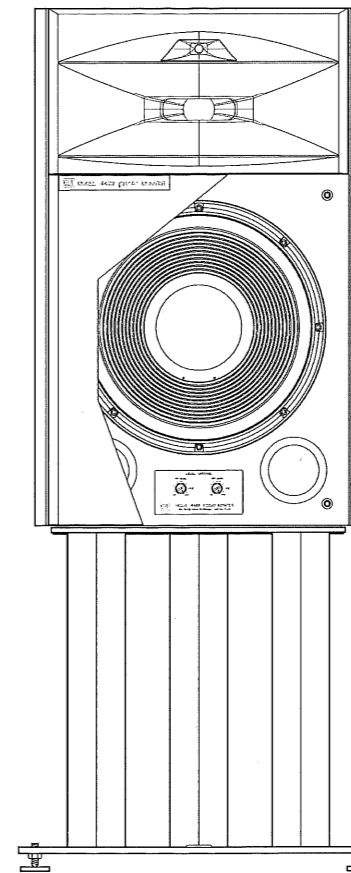
JBL

by HARMAN

SPEAKER STAND
JS-360

4429, 4312シリーズ他、30cm径ウーファークラス・スピーカー用スタンド

スピーカースタンド 組立説明書



※スピーカースタンド JS-360 使用例

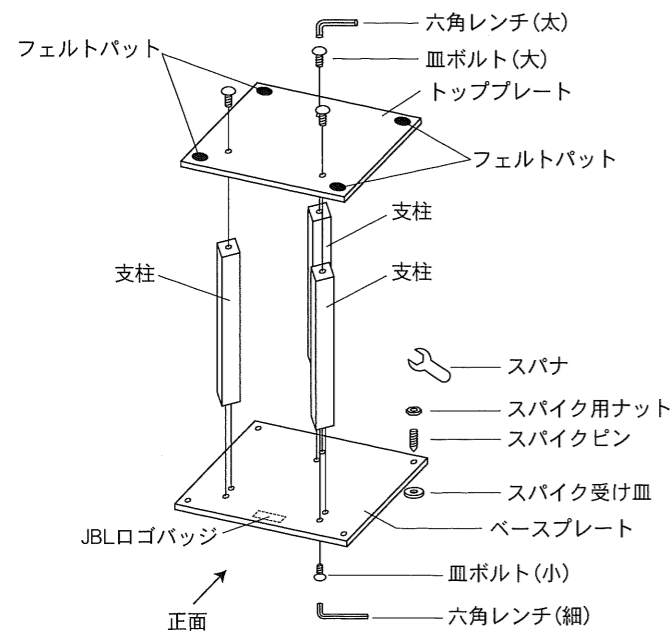
HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

この度は、JS-360スピーカースタンドをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
 組み立ての前にこの取扱説明書を最後まで読み、記載事項にしたがって正しく組み立てて、末長くご愛用ください。

組み立ての前にこの取扱説明書を最後まで読み、記載事項にしたがって正しく組み立てて、末長くご愛用ください。

【各部の名称と付属品】

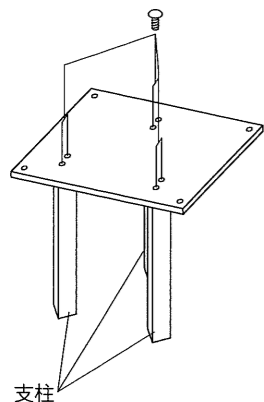


- トッププレート×1
 - ベースプレート×1
 - 支柱×3
 - 皿ボルト(大)×3
 - 皿ボルト(小)×6
 - スパイクピン×4
 - スパイク用ナット×4
 - 六角レンチ(細)×1
 - 六角レンチ(太)×1
 - スパナ×1
 - JBLロゴバッジ×1
 - フェルトパット×4
 - スパイク受け皿×4
- (畳に直置きする場合等、安定の悪い場所に設置する際に使用ください。)

【本体の組み立て】

⚠ 注意

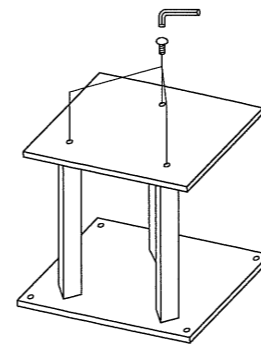
スタンドの組み立ては、平坦な床面上で行ってください。床面にキズを付けないよう、タオルなど柔らかい布を敷いて作業を行うことをお勧めします。支柱及び各プレートは重量物ですので、組み立て中の落下、転倒にご注意ください。また、本体と床面との間に指などを挟まぬよう、十分ご注意ください。



- ① 平らな床面に2つ穴側が上にくるように支柱を立て、支柱のネジ穴とベースプレートの穴の位置とが一致するよう、支柱の上にベースプレートを置きます。
 (支柱の上でベースプレートをずらすと、プレート表面に傷が付く恐れがありますので、穴の位置をよく確かめてプレートを支柱に乗せてください)

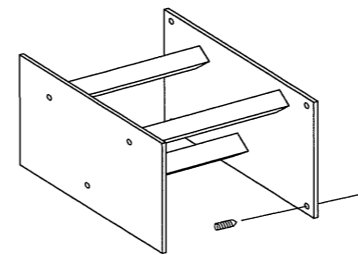
- ② 皿ボルト(小)をネジ穴に差し込み、廻らなくなるまで手で締め付けます。(仮締め)

※この時、ボルトを強く締め過ぎないようにご注意ください。
 後の工程でねじとねじ穴の位置が合わなくなり、トッププレート用ボルトが入り難くなる恐れがあります。



- ③ 本体をひっくり返し、各支柱のネジ穴とトッププレートの穴の位置とが一致するよう、支柱の上にトッププレートを置きます。

- ④ 皿ボルト(大)を穴に差し込み、付属の六角レンチ(太)を使用して3本の皿ボルト(大)を締め付けます。(仮締め)



- ⑤ 背面部を下にして、平らな床面に本体を倒します。トップおよびベースプレートの背面部が完全に床面に接していることをご確認ください。
 (プレートの一端が床から浮いている場合は、皿ボルトを少し緩め、各プレートの両端が床に接するようにします。)

- ⑥ 支柱をしっかりと押さえながら、付属の六角レンチを使用してボルトを締め付け、トッププレート、ベースプレートを固定します。

- ⑦ 4本のスパイクをそれぞれベースプレートの四隅に突起部からねじ込みます。各スパイクの先端がベースプレート裏面より6~7mm突出した状態で、なるべく均等になるようにねじ込んでください。
 (スパイクが入りにくい場合は付属の六角レンチ(細)を使用してください。)

- ⑧ 本体を起こし設置場所に移動します。

- ⑨ スピーカー底面とスタンドとの緩衝材として、付属のフェルトパットの裏紙を剥がし、トッププレートの四隅に貼ってください。

⚠ 注意

スパイクを取り付けた後、スタンドを移動する際は、スパイクで足や物を踏んだり、床面にキズを付けぬよう十分にご注意ください。

本スタンドには、床面との音響的干渉を取り除き、低域解像度の改善を果たすスパイクピンを採用しています。以下の説明に従いスパイクを調整してください。

(畳に直置きする場合等、安定の悪い場所に設置する際には付属のスパイク受け皿をスパイクピンの下に敷いてから調整してください。)

【スパイクの調整】

- ① スタンドを希望の設置位置に移動したら、スタンドが水平を保つよう4本のスパイク長さを調整しながら少しずつ平均して廻すようにしてください。

- ② スタンドにガタ付きがないことを確認の上、上からナットをねじ込みます。スパイクに六角レンチ(細)を差し込み、しっかりと押さえながら付属のスパナでナットを締め付けると確実に固定できます。

※毛足の長いじゅうたんの上に設置する時など、ベースプレートを床から離したい時は、スパイクの頭をベースプレート表面と面一に揃え、ナットをベースプレート底面側にねじ込んでください。

